

定期報告

2011年5月13日(金)

食事 朝:パン、ベーコンエック、トマト、レタスサラダ、ヨーグルト、フルーツゼリー

氏名:石崎仁(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

5:50 起床

7:00 青森チーム7名揃って朝食

8:00 朝のミーティング

8:45 カンファレンス、昨日一日目とは違いそれぞれ活発な意見交換を行う。

中田薬局に発注分の薬剤2品目について報告

保健師さんが変わりオストメイト情報の提供依頼が引き継がれていなかったため、改めて依頼した。

嘔吐物処理用の次亜塩素酸ナトリウム液調整について申し送り

保健師さんから嘔吐物処理について午後に説明会を開催する旨のお知らせあり。

9:00 診療開始

11:30 引き継ぎ

12:00 昼食

12:30 坂本賢薬剤師・長尾勇志薬剤師へ薬剤師部門の引き継ぎ

13:10 帰り支度

13:30 大槌高校を後にする。

第二次派遣隊もそうだったと思うが、ましてや今回の第三次派遣隊は二泊三日の短期間で後ろ髪を引かれる思いは皆同様であったと思われる。

八戸に帰ればそこも規模は違ってもまさしく被災地。

今回の東日本大震災の被害の大きさにただただ驚かされた。

必ず復旧を、きっと復興を願いつつ、徐々に普通の景色に変わっていくのを複雑な思いで眺めていた。

氏名:肥後佳範(薬剤師)

行動日誌

- 6:00 起床。前日寝不足の原因を隔離することにより4時間ほど睡眠はとれた。
今後のチームもわかっていることではあると思うが支援に入った我々が体調を崩すことはあってはならない状況である。体調管理は最重要課題。
- 6:30 朝食をとり、青森チーム長野チームと共に昨日の対策本部カンファレンスの申し送り。
本部では、被災者を保険診療している病院・診療所へ紹介してほしいようだが、被災者の中には移動手段が全くない方も多く、一概に全員を保険診療に戻すことは難しい。救護所の災害医療の必要性は状況を見ながら判断していくことが必要である。
- 7:50 雨が小降りになり散歩がてら周辺の散策へ。今朝の線量計は $0.12\mu\text{SV/h}$ とやや高め
の値だがこの程度では心配する必要はない。以前のレポート作成のために調べた知識も役立っている。
- 8:45 早朝カンファレンス。他の避難所で感染性胃腸炎の2-3件の報告あり。保健師さんより吐しゃ物の処理方法の講習を避難所で行うとのこと。各役割・診療の方向性の確認。
院外で出せる人には通常の状態へ戻ってほしいとのこと院外にする方向へ。
- 9:00 診療開始。あいかわらず慢性疾患患者が多く占めるが、患者さんの中には自宅近くの薬局へ行くなど、撤退後のことも考えた方も増え始めている。午後の引き継ぎのための準備。
- 11:30 第4次支援チーム到着。
昼食終了後に引き継ぎへ。
以前との変化・対応方法を継続して考えていく必要がある。

11日から13日と短い滞在ではあったが大槌の復興への取り組みは進んでいる。その中で避難所の中に残された医療難民の存在も忘れてはならない。保険診療を行うにしても被災してお金のない患者、車やガソリンがなく出歩けない患者さんのために必要な措置・対策を一刻も早く講じるべきである。

氏名:工藤源造(総務)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床

6:30 朝食

7:30 ミーティング

8:45 診療所ミーティング

9:00 診療開始

9:30 引継ぎ準備・佐藤係長に総務業務の最終確認

10:30 食料品買出し

11:00 昼食準備

11:30 坂本薬剤師・長尾薬剤師到着 引継ぎ

12:00 昼食

13:30 帰路に着く

18:00 本部到着

今回は、2泊3日と短い期間でした。今回の目的の一つとして佐藤係長の総務としての役割を申送る事でした。短時間でしたが佐藤係長は意欲的に覚えようとしておりほぼ完璧に覚えてもらいました。